

事業名	消防振興費	財務コード (事業)	122702
-----	-------	---------------	--------

細事業名	消防活動普及啓発事業費
------	-------------

担当部課室	総務 部 消防保安 室 消防指導 担当 (内線)	2509
-------	--------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S23 年度 ~ 終期 年度																			
実施主体	県(直営)																			
事業の目的	誰(何)を対象に ①消防職員、消防団員、消防機関等 ②県民	その対象をどのような状態にして ①士気の高揚が図られている ②消防活動への理解が深まっている	結果、何に結びつけるのか 地域住民の安全・安心の確保																	
	<p>○事業概要 消防記念日式典の実施や活動に貢献のあった消防職員・団員、消防機関等に対して知事定例表彰を行うことにより、消防関係者の任務の再認識と士気の高揚を図るとともに、県民に対する消防活動への理解を深めることを目的とする。</p> <p>○近年の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>式典出席者数</th> <th>知事定例表彰者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>538名</td> <td>3団体、60個人</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>530名</td> <td>4団体、55個人</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>662名</td> <td>4団体、50個人</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>643名</td> <td>5団体、45個人</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>655名</td> <td>5団体、45個人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※主に23年度</p>				式典出席者数	知事定例表彰者数	平成23年度	538名	3団体、60個人	平成22年度	530名	4団体、55個人	平成21年度	662名	4団体、50個人	平成20年度	643名	5団体、45個人	平成19年度	655名
	式典出席者数	知事定例表彰者数																		
平成23年度	538名	3団体、60個人																		
平成22年度	530名	4団体、55個人																		
平成21年度	662名	4団体、50個人																		
平成20年度	643名	5団体、45個人																		
平成19年度	655名	5団体、45個人																		
根拠法令等	消防組織法第29条第1項第5号(都道府県の消防に関する所掌事務)、知事表彰実施要綱、消防記念日式典開催要綱																			

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方		
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値			
活動指標	消防記念日式典出席者数	530人	666人	538人	666人	666人	目標設定の考え方 会場(県民文化ホール小ホール)の最大収容人数 データの出典等 施設管理規程	
	活動指標達成率(実績値/目標値)	80.8 %						
成果指標	成果指標達成率(実績値/目標値)	%						目標設定の考え方 データの出典等
	決算額、予算額	1,606	815		803	803	成果指標によらない成果	
(千円) うち一財額	1,606	815		803	803	平成21年度から23年度にかけて知事定例表彰の表彰者数を増加するなど、消防活動に対する普及啓発を充実させてきている。消防記念日式典出席者から、「式典への参加により、消防団員としての認識を新たにした。」等の声が多く聞かれており、士気の高揚に寄与している。		
所要時間(直接分)	350 時間	350 時間		350 時間	350 時間			
所要時間(間接分)	時間	時間		時間	時間			
所要時間計	350 時間	350 時間		350 時間	350 時間			
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	707	707		707	707			

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成17年度より、消防記念日式典の会場を県民文化ホール大ホールから小ホールへ変更。  
 平成23年度より、消防団員を10年以上勤続して退職した者を対象とした、退職消防団員報償(金杯)を廃止。(国の表彰制度との重複部分を整理)

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	b	消防記念日式典出席者から、「式典への参加により、消防団員としての認識を新たにした。」等の声が多く聞かれるなど、意図した成果はほぼ上げていると考えられる。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目
有	事業所の消防団活動へのより一層の理解を深め、早急に消防団員が活動しやすい環境をつくる必要があるため、消防団協力事業所表示制度の認定事業所を対象とした知事表彰制度を創設する。	b

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
改善済み	事業所の消防団活動へのより一層の理解を深め、早急に消防団員が活動しやすい環境をつくる必要があるため、平成24年12月に消防団協力事業所を対象とした知事表彰制度を創設し、平成25年3月に表彰を実施した。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。